

真理子先生の

# 女性の ミカタ

HPVワクチン<sup>Ⓧ</sup>

真理子レディースクリニック  
院長

伊藤 真理子

●(いとう・まり)1986年山形大学  
医学部卒業。山大病院、篠田総合  
病院を経て2005年6月に真理子レ  
ディースクリニックを開業。日本産科  
婦人科学会認定産婦人科専門医。



方です。

1回も接種していない  
方は3回、1回接種した  
方は2回、2回接種した  
方は1回、それぞれ無料  
で接種できます。

期間を過ぎると接種費  
用は全額自己負担になっ  
てしまいます。

## 詳しくは市町村窓口で

昨年度は県内の35市町  
村すべてで、対象の方に  
案内が個別郵送されまし  
た。

定期接種の機会を逃が  
して「受けていれば良  
かった」とお考えの方  
で、キャッチアップ対象  
期間にお生まれになった  
方は、住民票がある市町

村の窓口にお問い合わせ  
ください。

## 広域接種も選べます

山形県ではお住まいの  
市町村以外でワクチンが  
接種できる「広域接種」  
を取り入れています。た  
だしHPVワクチンの場  
合は事前の手続きが必要  
な場合もあります。

## 接種するなら早めに

未来のがんを予防でき  
るHPVワクチン。希望  
される方は、なるべく早  
く接種されることをお勧  
めします。

「中学生でも産婦人科  
で子宮頸がんの予防注射

できるなんて知らなかつ  
た」と驚かれたお母様も  
いました。接種できる医  
療機関、小児科、内科、  
産婦人科のクリニックな  
どにお問い合わせてくださ  
い。

中2から中3のお嬢様  
は2回接種で済むよう  
に、15歳になるまでに1  
回目を接種してしま  
いましょう。夏休みと春休  
みなどで合わせて2回接種  
の計画を立ててみてはい  
かがでしょうか。

県内全市町村では20

22年4月1日から、  
HPV（ヒトパピローマ  
ウイルス）ワクチンの定  
期接種の機会を逃してし  
まった人を対象に、あら  
ためて無料で接種が受け  
られる救済制度「キャッ  
チアップ接種」が厚生労  
働省より案内されていま  
す。

## キャッチアップ接種

期間は25年3月31日ま  
での3年間。対象は19  
97年4月2日から20  
07年4月1日までの間  
に生まれた女性で、接種  
日時時点で県内市町村に住  
民票があり、HPVの3  
回接種が完了していない

